

2026年3月

からし種

カトリック片瀬教会



共同体の未来に祈る

ブランチフィールド神父

2月26日、くもり、寒い。窓から見てはまだ冬。教会の暦ではもう四旬節です。復活祭を迎えるために、自分と向き合って日頃の生き方の見直しをしている季節です。復活祭を盛大に、よろこびをもって迎えるようにしたい。

3月15日に黙想会を予定しています。そしてその時に許しの秘跡が話題になるでしょう。かつてはたびたび受ける秘跡であったが、この頃はそうではない。理解が変わったのでしょうか。洋服が汚れて、クリーニングに出して、そしてきれいになったものをまた汚れるまで着ていく。でも許しの秘跡はそういうものではない。秘跡を受けて、もう汚れがつかないように生きるという決心が条件です。でも事實は、私たちはみんな罪人ですから絶えず神様の助けを必要としています。秘跡はそのためです。せめて年に数回受けたいものではないかと思えます。

先週は年に一度の信徒大会がミサ後にありました。堂々とそれぞれの部会の報告がありまして、共同体の日頃の現状を考えました。大勢の方が参加していて、私は感心しました。しかし、若い人がいかにも少ないことに気がつきました。共同体の中に次の世代をどうやって迎え入れるか、また関心を持たせるかは、これからの一番の課題ではないかと思えます。

今まで何年も続けて共同体を支えてくださったみなさんのために、大いに感謝しています。しかし今後、若い勢力は共同体のためにかげがえのないものとなります。でも私たちはみんな神様の愛の御手におりますので、信頼をもって祈りましょう。

2026年3月度教会委員会報告

開催日時：2026年2月8日(日) 11時30分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、副委員長、典礼、財務、監査、総務、宣教司牧、福祉、広報、一粒会)、市内キリスト教連絡会、シャルル聖パウロ修道女会)、書記

※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

ブランチ神父のお話し

委員会の皆さんにお願いですが、委員会の話し合いがよく進むように、人が発言している時は最後まで聞いてください。

委員長から、総務部代表の交替に関して、福祉部の代表の代行の件、書記代行の件の説明があった。詳細は信徒大会資料に記載。

全体の報告および連絡事項

1. 四旬節の予定(典礼部より)

1) 2月18日 灰の水曜日のミサ時間 10:00、19:30

※灰作りは、2月13日に典礼部で行う。

2) 四旬節中の金曜ミサの時間は、9:00。ミサ後十字架の道行きを行う。

3) 3月15日 黙想会 8時ミサ後、9:10～9:40、10時ミサ後 11:20～12:30

※ミサ後5分～10分程度の休憩を入れてから黙想会を開始する。臨機応変にその時指示。指導は、レデンプトール修道会 萩原師。

4) 3月19日(木)聖ヨセフの祝日 ミサ時間 10:00

5) 3月29日 受難の主日(枝の主日)ミサ時間 8:00、10:00

※3月26日 枝切り(典礼部) 3月27日 枝作り(典礼部+有志)

6) 聖週間

① 4月2日 聖木曜日(主の晩餐の夕べ、洗足式) ミサ時間 19:30

② 4月3日 聖金曜日(主の受難) 十字架の道行き 15:00 典礼時間 19:30

③ 4月4日 復活徹夜祭 ミサ時間 19:00

④ 4月5日 復活の主日 ミサ時間 8:00、10:00

7) 復活の主日は、子どものミサバンドとハンドベルで祝う。4月の子どもミサは無しとする。

2. 2月11日(水) 第44回横浜教区典礼研修会。

テーマ「教皇レオ14世が目指す教会」。片瀬教会から10名参加予定。

各部会からの報告

財務部

別紙により、2025年度会計報告がなされた。信徒大会でも報告する。

総務部

総務部の仕事の内容見直しを予定。しばらくは2025年副代表が代表代行。

宣教司牧部

12月より教会史講座を2回実施。約15名参加。興味のある人は参加してください。但し黙想会のある3月15日はお休みとなる。

福祉部

別紙によりクリスマス献金(145,500円)の送り先の報告があった。

中高大青会

侍者奉仕をしてくれる中学生が増えた。

教会学校

2月1日に侍者会参加。保護者と一緒に神父様の侍者に対するお話を聞いた。

市内キリスト教連絡会

キリスト教一致のための合同祈祷会 日時: 1月24日(土)14:00~15:30
場所: 日本基督教団藤沢北教会(六会日大前) 参加人数 60人(13団体)、片瀬教会からは5名参加。

□検討・討議事項

1. コピー機更新の提案がでたが、現状の機械が使えるので今はしないことになった。
2. 2月22日の信徒大会
 - 1) 別紙にて資料案を確認した。
 - 2) 2月19日(木) 13:00 資料の印刷(200部)
 - 3) 司会は副委員長の奥田さん、書記は、副委員長の前島さんと池尾さん。
 - 4) 発言がしやすいように議事進行を工夫する。席をコミュニティ毎にまとめてみる。
3. 片瀬海岸2丁目町内会長及び防災担当から災害時の注意点等をきく、防災訓練を計画する。
4. 4月5日の復活祭
 - 1) ミサ後に信徒全体の写真を撮る。カメラマンを募集し候補が挙がったので声かけをしてみる。
 - 2) 8時のミサ後はお茶会、10時ミサ後はパーティとする。担当はコミュニティC。両方担当するかどうかはコミュニティの集まりを持って検討する。

8時のミサ後のお茶会の準備はその日のカフェグループ A が担当するという考え方もある。

5. 営繕計画練り直しの為のアンケートを実施する。別紙アンケート案を検討し、修正を加える。信徒大会で配布、3月8日までに回収。
6. 信徒会館1Fの掃除は、カフェ当番や講座の方、その他使用者が責任をもって必ず掃除をして帰る事を徹底する。年2回ほどの大掃除(ワックスがけ等)は8時ミサ参列者で行ってもらふ事と2月8日8時のミサ終了時に行った参列者による話し合いで決まった。

次回委員会開催 3月8日

横浜教区典礼研修会

『教皇レオ 14 世の時代に教会が進む道』

桂正枝

毎年2月11日に行われる「横浜教区典礼研修会」も44回目となり、今年は、イエズス会の菅原裕二神父様による「教皇レオ14世の時代に教会が進む道」というタイトルの講話でした。

昨年4月にフランシスコ教皇が逝去され、5月に第267代ローマ教皇レオ14世が選出されました。

1955年にアメリカ・シカゴで生まれた教皇レオ14世は、大学卒業後アウグスチノ会に入会、司祭に叙階されました。アウグスチノ会の総長として世界を巡り、その後、長い間南米ペルーで働かれた豊かな経験から、世界中の状況をよく知っておられます。また、教皇に選出されるまでは、枢機卿としてバチカンで働いておられたので世界の教会の状況もよくお分かりでした。

レオ14世は、フランシスコ教皇の路線、「世界の『福音化』」を継承され、今教会に求められることは何か、特に世界平和、貧しい人への心遣い、環境への配慮、制度の安定、そして、広く外に向けて開いていこうとする教会の課題を呼びかけておられます。フランシスコ教皇は、次々と改革を実践なさいましたが、教会法の専門家であるレオ14世は、それを教会法と整合させることも大切に思っておられます。

教会は、建物ではなく、また、重要なのは教会や信徒の「数」でもない。かつては「教えを受けるところ」と考えられていた教会ですが、今は、信徒一人一人

が受動的ではなく、自分はどのように福音を生き、信仰の喜びを伝えているかということが問われています。

レオ 14 世は、変化の激しい現代社会の現実にしっかりと目を向けるよう呼びかけておられます。例えば着座後すぐに AI について触れられましたが、AI を正しく使い、若い人たちが AI の世界で仲間を作っているのなら、その世界の中でどのようにイエスの教えを生きている姿を伝えていくかも考える必要があると述べられています。

かつてのバチカンの神学校では、ヨーロッパや北米出身の神学生が中心でしたが、今は、南米、アフリカ、アジアなどからの留学生が多数であることなど、教会は常に動いており、その動きは神の計画であり恵みであることに信頼することも大切です。

ミサは、聖体のうちに現存するキリストを囲む交わりの場であり、それは共同体の中心であるべきであるとのお話の後、大きな藤沢教会の聖堂いっぱい集まった参加者と共に与った、参加された司祭方共同司式のミサは、キリストと共に派遣される私たちに決意と力を与えてくれました。

長い間、ローマの教皇庁立グレゴリアン大学で教鞭をとっておられた菅原神父様ならではの、バチカンでの体験を交えながら、この度の教皇選挙やバチカンの教会について興味深いお話を伺うことができたことに感謝いたします。

尚、この研修会の録画は、後日配信されるとのことです。

また、教皇レオ 14 世の使徒的勧告「わたしはあなたを愛している」は、教会玄関の図書のコナーに置いてあります。



2026年度 キリスト者一致のための合同祈禱会

辻垣篤



1月24日(土)日本基督教団 藤沢北教会で同教会牧師の長倉基牧師司式で「キリスト者一致のための合同祈禱会」が執り行われました。

13の団体より60名の参加があり、片瀬教会からは5名の参加がありました。寒い中でしたが、藤沢北教会がほぼ満席になり、その後の愛餐会(親睦会)でも、他団体の方々と親睦を深められ、とても有意義な時間となりました。

今回の合同祈禱会は、日本ナザレン教団 藤沢ナザレン教会の満山リベカ牧師によって、使徒パウロのエフェソの信徒への手紙(第4章・1~13節)について、お説教が行われ、テーマは「一致」についてでした。お説教の中で、私が心に残ったフレーズをいくつかご紹介させていただきます。

・「一致」の反対の「不一致」は、国と国の間、民族と民族の間、人と人の間、一人の人の心の中でも起こっている。

・不一致が起こっている時、「自分は悪くない」、「相手が変わればいいのに」と思ってしまう。

・キリスト者として、ふさわしく歩むには、謙遜・柔和・寛容・忍耐(愛を持って互いに忍耐)が大切。

戦争や争い、人とのケンカ、感情的な怒り(後で反省)など、不一致による衝突は、全世界、人との関わりの中で日々起こっています。そのとき、「自分は悪くない」という思いを無意識のうちに持っているように思います。自分の中でも当てはまることがいっぱい思い起こされます。仕事や家庭、子供への対応など。。。もっと相手のことを想い、愛を持って接していれば、衝突や相手を説得するのではなく、お互いの違いを認め合いながら一致ができていたのだろうと気づかされました。

そのような気づきをしながら色々と思いを巡らしている中で、よく聞く一つの言葉が頭に浮かびました。「お互いのために祈りましょう。」ブランチ神父様が、お説教の後に必ずおっしゃるフレーズです。神父様がどのような気持ちでいつも私たちにおっしゃっているのが、わかったような気がして、神父様の気持ちと少し一致したような気がした合同祈禱会となりました。

合同祈禱会は、新しい気づきや他団体の教会の礼拝堂を拝見できる機会にもなりますので、お散歩ついでに参加してみたいかがでしょうか? ご参加をお待ちしております。



五島巡礼記

川崎真理子

昨年(2019年)の10月に山野内司教様(さいたま教区)と32名の信者は五島の教会をめぐる旅に参りました。片瀬教会からは旭さんと私が参加しました。旭さんがいたので心強かったです。

羽田9時出発福岡乗り換えでお昼には福江空港に到着。バスで大瀬崎断崖絶壁灯台を見てから日本初のルルドが作られた井持浦教会、壁画が美しい三井楽教会みいらくに行きました。海も空も抜けるように青く山々の緑は深く自然の美しさを味わいました。

信者でトップクラスのガイドさんのお話は楽しいなかにも五島の信者の受けた苦難を伝えました。ご先祖の助産婦さんが神父様と協力して、「間引」といって失われる赤ちゃんの命を助け、育てた事。信者が迫害され狭い空間に大勢閉じこめられ命を落とした事。どの教会も坂の上にあります。若いとは言えない私達は手摺を頼りに上りました。

その日最後の福江教会では18時過ぎにミサが始まり、「希望の巡礼者」を全員で歌いました。メンバーに茅ヶ崎教会のオルガニストさんがいて上手な伴奏をして下さいました。司教様はとても優しく、ギターもお上手で心のこもった歌を歌って下さいます。この旅の中でアッシジの聖フランシスコの祈りのカードを下さいました。『主イエスキリスト、私たちはここでまた世界中のあなたのあらゆる聖堂であなただけを礼拝し、賛美します。あなたは尊い十字架によって世を贖ってくださいました。』司教様のカードのお祈りをしてからホテルに向かいました。夕食はオクラの和え物、地魚三種のお造り、平政のあら煮。さらし鯨、茶碗蒸し五島豚の陶板焼き、五島うどん。旭さんと一本のビールを分け合っていました。とても美味しかったです。お隣は河原町教会の方でした。

次の日は8時半に出発して、楠原教会、再宣教後に建てられた堂崎天主堂、ノアの箱舟を模した浦頭教会を訪れ、昼食後船にてひさか久賀島へ、牢屋の窄殉教地を訪れた後、浜脇教会でミサ。私は聖書朗読を担当。その日は強風でフェリーは欠航でしたが、船上タクシーを徳矢さんが頼んで下さっていたので、車では行かない海辺の教会を訪れる事が出来ました。

船で重要文化財となっている旧五輪教会ごりんへ、歌手の五輪真弓さんのお父さまはこの教会のオルガニストだったそうです。また船に乗りキリシタン洞窟を遠望しながら上五島の中通島へ。バスでホテルに着き漁火定食、一口鮑、鮪と白身魚のお造り、塩鯨の湯引き、五島牛のローストビーフ、地だこのマリネなど頂きました。

た。

3日目は大曾^{おおそ}教会、青方^{あおかた}教会、冷水^{ひやみず}教会、青砂^{あおさ}が浦^{うら}教会、鯛^{かしら}の浦^{がしま}教会、頭ヶ島教会を訪れ最後に仲知^{ちゅうち}教会でミサに与かる事が出来てしあわせでした。仲知教会はレンガ色の美しい教会で 1978 年に信徒の多額の拠出と労働奉仕により改築されました。イタリア製のステンドグラスの色彩が美しく、特に赤色が華やかです。前田枢機卿を始め沢山の神父様やシスター方が生まれた教会です。その日はホテルマルゲリータで五島イタリアンを頂きました。トマトのカプレーゼ、鮮魚のカルパッチョ、五島豚の自家製ハム、生ハムと島メロン、自家製ツナと島トマトの Pasta、魚介のアクアパッツァ、五島牛のビステッカ、梨のコンポートとジェラード、景色も素敵で美味しかったです。

4日目は7時40分出発。8時20分中ノ浦教会でミサ。9時50分奈良尾港から長崎港へ、昼食後大浦天主堂へ、15時に長崎空港を出発して17時半に羽田に到着しました。

今年の10月には平戸の巡礼旅行がありますので、皆さんもいらっしやいませんか。



Padre Mario per sempre

田村克巳



1月、昨年につきイタリアを旅し、教会の巡礼と、昨年聖年の扉をくぐり回心を誓ったサンピトロ大聖堂をはじめ4大バジリカを再び訪れ、閉ざされた聖年の扉に手を押し当て再び赦しを願ってまいりました。

そしてお会いする機会も次第に限られてくるマリオ神父様を、レッコに再びお尋ね致しました。

神父様は、ミラノ会の施設にお住まいになっており、片瀬教会を離れ10年以上の月日がたっているにも拘わらず、皆様のお名前とお顔だけでなく、片瀬時代のエピソードや思い出もお話しになり、聡明さとダンディな佇まいはお変わりなかったです。

昔神父様は私に「知識は必要です。しかし信仰は信じる事がより大切です」と教えて下さいました。そして聖書そのものの解説より、そこにあるイエスの考えや、生き方、キリスト教の精神を通して、信徒の私達が日常の中で何を指針に、いかに思い、行動すべきかを諭されてきました。

私はイエスに倣いながら信徒に寄り添う神父様を信じたことで、信仰に導かれ多くの物を得ることが出来たと思っています。しかしながら、復活、永遠の命を信じる信徒でありながら、未だにマリオ神父様を求めてイタリアをさまようことに至らなさを感じる一方、さまよう自分が幸せ者だという想いも交錯しておりました。

又お会いした中で、神父様にとって「信じる」「祈る」とは、「神との対話」「愛するという事」「宣教師としての人生の回顧」等今まで聞きたかった事をお尋ねし、率直なお言葉を受け取りました。これは私にとってマリオ神父様からの sacrament であり、一生の宝物として守っていきます。

加えてイタリア旅のもう一つの目的は、2人の画家、カラヴァッジョとフィリップ・リッピを追いかけることでした。この生きた時代は異なっても、イタリア代表する2人の天才画家の絵を求め、教会、美術館を巡礼することは私の永年の夢だったので、その魅力的な題材と画風に触れつつ、所々教会でミサに与りながらの絵画鑑賞は至福の時間でした。

マリオ神父様は、私は田村さんともう会うことは無いと思いますが、会った思い出はいつまでも残ります。イエス様のところで又会いましょうと言ってくださいました。

想像もしなかったそのお言葉に感激はしたものの、又お会いする機会はいくらでもありますと申しあげました。しかし神父様とイエス様のところでお会いする資格は、今の自分にはないことは解っていますし、これからの課題を神父様から与えられた想いがしました。

神父様に再びお会いすることを願い、課題に向き合い、信徒の道を歩んでまいります。



福祉部よりご報告

☆2025年度のクリスマス献金の総額は145,500円でした。

下記の通りお送りしました。ご協力ありがとうございました。



クリスマス献金(2025年度) 送り先

| | 団体名 | 団体説明・内容 |
|----|--------------------|-------------------------------------|
| 1 | NPO法人聖地のこどもを支える会 | 紛争の続く聖地での平和実現の為、若い人材を育てる活動をしている |
| 2 | NPO法人サンワークかぐや | 知的・精神的障害者の支援所 |
| 3 | NPOノア | 知的・精神的障害者を家族として迎え生活を共にしている団体 |
| 4 | シャロームの会 | 障害を持つ方の作業所及びグループホーム ケンズ神父が私費で設立時援助 |
| 5 | あかつきの村 | 群馬県前橋市にあるベトナム難民施設 |
| 6 | JLMM(日本カトリック信徒宣教会) | カンボジアへの活動(福島県松木町教会出身者召命) |
| 7 | NPO法人アルベ難民センター | 鎌倉十二所のイエズス会熱想の家を使っている難民収容施設 |
| 8 | AFMET | 山口神父が副理事をしている東ティモール支援団体 |
| 9 | ベシャワール会 | 故中村哲医師の活動を支援する目的の団体 |
| 10 | 社会福祉法人「創」 | 藤沢市の重複障害者の為の作業所及びグループホーム |
| 11 | (特非)女性の家サーラー | 女性のシェルター (ランチ神父様も応援している) |
| 12 | カリタスジャパン | ガザ地区の支援 |
| 13 | 川崎マック | 依存症回復施設、片瀬教会の庭の清掃に来てくれている(植木伐採も含めて) |

2026年3月

☆教皇の意向：武装解除と平和

各国が有効な武装解除、特に核武装の解除に向けて動き、世界の指導者たちが暴力ではなく対話へと歩みを進めていきますように。

☆日本の教会の意向：性虐待被害者

聖職者から性的な虐待を受けた方々のために祈ります。身勝手は思いと行動により、心と体に大きな傷を受けた方々が、神のいつくしみによって癒されますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

| 曜日 | | 典礼 | ミサ時間 | 行事・活動予定 |
|-----|---|--------------------|--------------------------|----------------------|
| 3/1 | 日 | 四旬節第2主日 | 8:00 10:00 (子供のミサ) | |
| 2 | 月 | | | |
| 3 | 火 | | | ヨハネ福音書を読む会 10:00 |
| 4 | 水 | | | 聖書と典礼を読む会 10:00 |
| 5 | 木 | | | まりあ食堂 |
| 6 | 金 | ※性虐待被害者のための祈りと償いの日 | 9:00 | ミサ後、十字架の道行き・金曜講座 |
| 7 | 土 | | | |
| 8 | 日 | 四旬節第3主日 | 8:00 10:00 | 4月度教会委員会 |
| 9 | 月 | | | |
| 10 | 火 | | | ヨハネ福音書を読む会 10:00 |
| 11 | 水 | | | 聖書と典礼を読む会 10:00 |
| 12 | 木 | | | |
| 13 | 金 | | 9:00 | ミサ後、十字架の道行き・金曜講座 |
| 14 | 土 | | | |
| 15 | 日 | 年間第4主日 | 8:00 10:00 | 黙想会(レデンプトール修道会萩原神父様) |
| 16 | 月 | | | |
| 17 | 火 | | | ヨハネ福音書を読む会 10:00 |
| 18 | 水 | | | 聖書と典礼を読む会 10:00 |
| 19 | 木 | 聖ヨセフ祝日 | 10:00 | |
| 20 | 金 | | 9:00 | ミサ後、十字架の道行、金曜講座 |
| 21 | 土 | | | |
| 22 | 日 | 四旬節第6主日 | 8:00 10:00 | かしぶちさんの今なら聞きたい教会史 |
| 23 | 月 | | | |
| 24 | 火 | | | ヨハネ福音書を読む会 10:00 |
| 25 | 水 | 神のお告げ | | 聖書と典礼を読む会 10:00 |
| 26 | 木 | | | |
| 27 | 金 | | 9:00 | ミサ後、十字架の道行、金曜講座 |
| 28 | 土 | | | |
| 29 | 日 | 受難の主日(枝の主日)(聖週間) | 8:00 10:00 | |
| 30 | 月 | | | |
| 31 | 火 | | | |

◆お知らせ◆

○3月15日(日)レデンプトール修道会、萩原義幸神父様のご指導による黙想会があります。8時と10時、それぞれのミサ後に予定しています。皆様、ご参加ください。

○3月19日は、片瀬教会の守護聖人聖ヨセフの祭日ですので、10時よりミサを行います。

○3月度の金曜講座は、『ペトロの手紙・第4章』～です。皆様のご参加をお待ちしています。

2026年3月号

〒251-0035

発行 カトリック片瀬教会
藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>